

早いもので、もう11月。今年度もあと5カ月となりました。2学期は、小学校では運動会や音楽会、中学校では文化祭など、子どもたちが学習の成果を発揮する場面が多く見られたことと思います。さて、大きな行事もひと段落した今、落ち着いた気持ちになって子どもたちとじっくり関わり合い、さらによりよい学級づくりを進めましょう。



<小学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

人間関係を深め、安心して生活・学習ができる場づくり



児童同士が人間関係を深めるように、次のような教室環境づくりを工夫してみませんか。

- ★学級目標を児童生徒の自画像で囲むなどして掲示し、一人一人の帰属感を高める。
- ★「学級の歴史」コーナーを設置し、一人一人が学級づくりに参画している実感をもたせる。
- ★「私の好きな言葉」、「本の紹介」等のコーナーを設け、相互理解や交流を深めるきっかけとする。
- ★係のコーナーを設け、学級への願いや要望、よりよい学級生活をつくるための問題提起を行う。
- ★「気持ちを表す言葉」、「聞き方・話し方のスキル」など、コミュニケーションを円滑にするための手かかりとなるポスターを掲示する。
- ★作品等を掲示し、児童自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評語を添え、達成感や有用感、肯定的なセルフイメージの形成を図る。



学級内の仕事を再確認しませんか

給食当番や清掃分担の仕事内容、人数はどのように決めていますか。年度当初に担当が決め、そのままにしていることがあるかもしれません。

キャリア教育の視点から、小学校においては、仕事や役割分担の必要性などについて理解できるようにすることが大切です。

そこで…

それぞれの仕事内容や人数について、児童に諮る

期待できること



- ・大人の目とは違った視点からの改善プランの提案
- ・話し合うことで、当番活動に対する理解の深まり
- ・仕事に対する責任感の増加

日常の積み重ねを通して、キャリア教育の一環として働くことの大切さや意義が理解できるようにしていきましょう。

<中学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

人権尊重の視点から、自身の人権感覚を見返す

笑顔集まる学級づくりのために、今一度、生徒たちへの接し方を振り返ってみませんか。

【生徒の名前を大切にし、正確、丁寧に呼んでいますか】

- ・「さん」、「くん」をつけて呼んでいる。
- ・生徒を一人の人として尊重している。

【教師の意図と異なる発言や行動をする生徒に温かく接していますか】

- ・一人一人の発言を大切に受けとめている。
- ・生徒が手本とするような言葉がけや注意の仕方をしている。



身近にいる同僚と確認し合うことで、自身の人権感覚の見返しにつながります。

生徒が学級の目標に向かって行動する工夫

朝夕の短学活等を使って、学級の実態に応じた目標を生徒が決め、声を掛け合い、達成度を評価し、新たな目標につなげるサイクルを作ってみませんか。

学級会

学級目標達成に向け、具体的な取組を全員で出し合う。

朝学活

正副ルーム長がその取組をもとに、「今日の目標」を設定し、黒板に書く。

1日

目標達成に向け、班長が中心となり全員で声を掛け合いながら生活する。

午後学活

正副ルーム長が「今日の目標」の達成を確認・評価し、翌日の目標に反映させる。

集団の目標を見だし、協力して達成する力は、社会の様々な場面で生きて働くことでしょう。

